

国保税都道府県化問題・運動で前進



国保税引き下げも、可能に！！

来年4月から、国保4割上げの試算が出された国保の新制度「広域化（県の強力指導下の運営）」問題で、7月から1ヶ月間「県民の意見募集」が県の国保運営協議会により行われました。浦和民商も婦人部、青年部、共済会なども含めた多くの団体や個人で「わずかな引き上げももう耐えきれず滞納となってしまう。何より高すぎる今の国保を引き下げることこそ最優先にしてほしい」と、切実な声を届けました。県下の多くの団体、個人が同じような意見を提出しました。

それをもとの9月14日の国保協議会で、来年4月からの運営方針にあった「赤字解消（市町村の一般会計からの国保への支援・くり入れを無くすことを言う）の計画表を、全面削除する」と、決定されました。つまり「一般会計からの、くり入れは認めない」との従来の姿勢から「くり入れを、止めるか続けるかは、市町村それぞれの判断にゆだねる」と、文書の上でも変えることとなりました。「くり入れは悪」とする国や県の方針を、運動により撤回させたという大きな成果を、私たちは上げることができました。

さいたま市の、国保税の引き下げは、運動により実現できるという道を開くこととなりました。「くり入れを続けると共に、その額を増やして引き下げを」と、要請をつづけることが、今後欠かせないこととなります。

「運動をしてこそ、要求したものは得られる」

今回実現したそのことをもとに、多くの会員と共に、多くの諸団体と共に、更に大きな成果へ向け力を尽くしましょう。

社会保障対策部長 荒川常男

発行
浦和民主商工会
www.minsyoo.jp
さいたま市浦和区本太
5-38-3
Tel 886-5200
FAX 886-5454
urawa@minsyo.jp

全商連第11回事務局長学校に参加しました

9月13日から16日まで、山口県湯田温泉で行われ全国から110人が参加。埼玉県から3名が参加しました。初日は全体講演と全商連岡崎局長より問題提起がありました。

2日目からは、10班の分散会方式で討論がおこなわれ、私の所属した2班、10人の事務局長は私を除き関西、中国、九州、四国地方の方たちでありました。1日目は前日の問題提起について、特に要求運動をどう発展していくのか、自治体要請、あるべき税制の在り方など。また組織建設について経済センサスから相談活動強化の視点をどう捉えるのか。を中心に活発な討論が交わされました。関東と関西では、若干問題意識の違いはあるものの、法人部会を立ち上げ、法人集団申告や役員による税金道場、異業種交流を定例化で行い孤立しがちな法人会員を運動に参加してもらう努力に感銘を受けました。また関西はひとり事務局が多く税務調査も厳しい状況で県連が立会い乗り切っているとのことでした。日常業務について、事務局員の任務、継承問題、役員と民商運動の思いを共有した活動、特に関西ではスナックの風営法の取り締まりが強化され、スナックのママを守る運動など多くを学びました。早速風営法について、浦和で学習を行ない運動を組織したいと思います。15日は『小規模法人』についてパネルディスカッションがあり最終日、全商連太田義郎会長の講演、代表発言のあと閉校式が行なわれました。

おりしも台風が接近し次第に雨風強まるなか、急いで帰路に着きました。たくさんの方の事務局長に会い悩みや問題を話し合い、答えを見出すことができ大変有意義な4日間でした。



松本 安映

区支部	会員			読者			共済			婦人部			青年部			署名		
	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残
浦和	12		12	30		30	12		12	12		12	2		2	1220		1220
桜	12		12	30		30	12	2	12	12		12	2		2	1190		1190
南	12		12	30		30	12		12	12		12	2		2	1430		1430
緑	12		12	30		30	12		12	12		12	2		2	1330		1330
合計	48	0	48	120	0	120	48	0	48	48	0	48	8	0	8	5170	0	5170

9月11日（月）共済・婦人部拡大行動で、桜区会員共済2名拡大！！

9.19国会前総行動に参加

戦争法が強行採決されてから丸二年が経ち、今年も9月19日（火）に日本を変えたい・安倍を許さないとの熱い気持ちで1万500人が国会前に集まりました。

冒頭に小川敏夫（民進党参議院議員会長）・志位和夫（日本共産党委員長）・福島みずほ（社会民主党副党首）の演説があり、昨日に報道された衆議院解散は、9月28日に開かれる臨時国会の最初の議案が森友・加計問題についての集中審議を予定されていたとのことで、それを揉み消す為・やらせない為の冒頭解散になるそうです。解散総選挙・消費税増税に視野を向けさせ、森友・加計問題を揉み消そうとしている。国民を馬鹿にすぎていると思います。こんなことが許されるはずありません。

国民の声を届けて、安倍内閣を退陣させましょう。



花井 共希